

労働者協同組合 活用促進モデル事業 中間発表会

オンライン開催
参加無料
※事前申込み制

労働者協同組合活用促進モデル事業の取組状況および中間成果を報告し、労働者協同組合の更なる活用に向けた課題と展望を整理することを目的とした中間発表会です。

令和8年

2月16日(月)

時間 14:00-17:00

開催方法 オンライン開催
(事前申込み制・Zoomウェビナー)

定員 200名

【お申込み・お問い合わせ】

申込締切 2/12(木)

二次元コードまたは下記URLより申込みフォームにアクセスし、必要事項をご入力のうちお申込みください。

開催前日までに、お申込み時に入力したメールアドレスに「Zoom参加用URL」をご案内します。

<https://forms.gle/uc6foUhkH93Dd6KFA>



プログラム

■ 挨拶・概要説明

池田 陽平

(厚生労働省雇用環境・均等局勤労者生活課 労働者協同組合業務室長)

■ 各協議会からの報告

- ・神奈川県労働者協同組合促進協議会
- ・ふくい協同労働推進協議会
- ・長野県労協活用促進協議会
- ・三重県労協活用促進地域連携協議会
- ・徳島労協活用促進協議会

■ ディスカッション

・コメンテーター

小野 晶子 (独立行政法人労働政策研究・研修機構 理事)

中野 理 (日本労働者協同組合連合会 専務理事補佐)

・コーディネーター

高橋 弘幸 (労働者協同組合ワーカーズコープ・センター事業団 理事)

主催：厚生労働省

協力：日本労働者協同組合連合会、ワーカーズ・コレクティブネットワークジャパン

労働者協同組合 活用促進モデル事業の概要

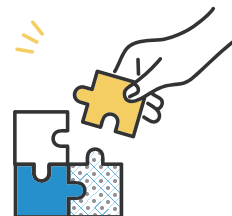
【労働者協同組合】

令和4年10月に施行された労働者協同組合法に基づき、労働者が組合員として出資し、その意見を反映して、自ら従事することを基本原理とする 法人制度

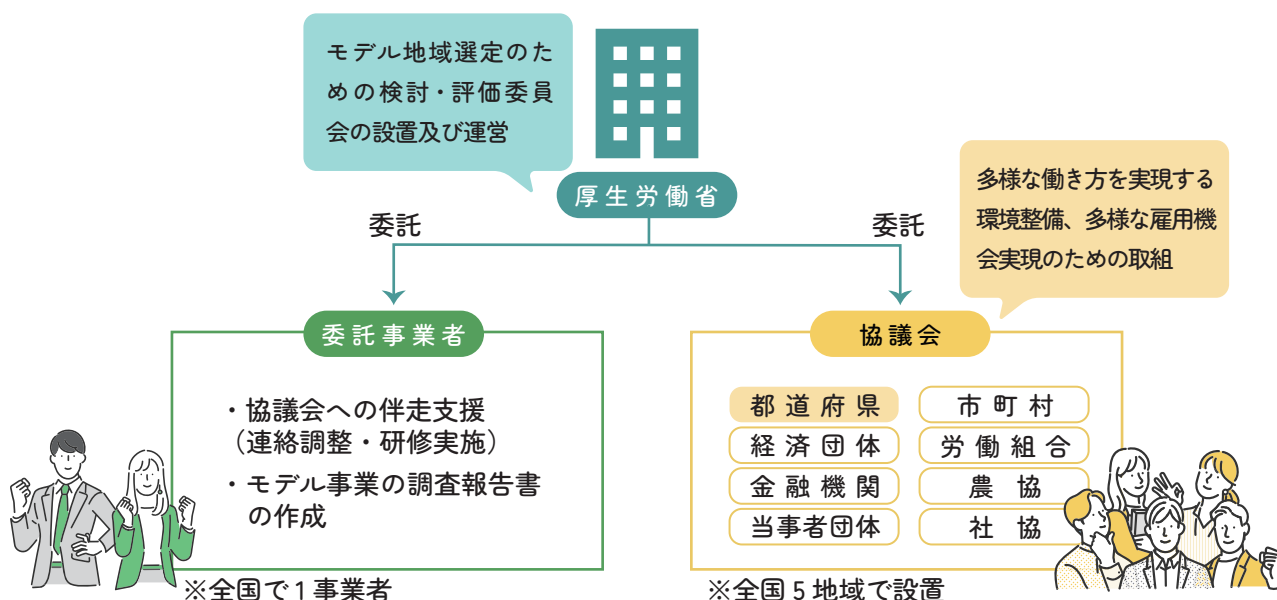


事業の目的

労働者協同組合の活用を通じ、地域課題に対応し、人材不足に悩む地域に必要な担い手を確保しつつ、個々の事情に応じ多様な働き方が可能となる環境を整備し、働きづらさを抱える方々（ひきこもり経験者等）や女性、中高年齢者などの多様な雇用機会を創出することを目的とし、創意工夫ある地域の取組を支援し、全国展開を図るものです。



事業の内容・スキーム・実施主体など



国がモデル地域として選定した都道府県に設置される協議会において、都道府県が中心となり、市町村や地域の経済団体、当事者団体、農協等の団体との連携・協力を通じ、労働者協同組合を活用して、①多様な働き方が可能となる環境整備や②働きづらさを抱える方々や女性、中高年齢者などの多様な雇用機会を創出します。

受託事業者は、協議会に対して、専門的知見に基づき、助言や相談等を通じた伴走支援を実施するとともに、国において他の地域への横展開に活用できるよう、本モデル事業を通じて得られた結果をまとめ、報告書を作成します。

そのほか、国において、モデル地域選定等のために検討・評価委員会を設置し、運営を行います。

【モデル地域の協議会で実施する事業の例】

- ① 労協活用に向けた相談窓口設置
- ② 多様な雇用機会創出のための講習会・ワークショップ
- ③ 労協とのマッチング支援（面接会の開催、情報発信等）
- ④ 多様な働き方の実現のための講習会・ワークショップ

